（申請書情報）

No.

第　　版

令和８年度採用分 海外特別研究員-RRA 申請書

受付番号				
審査区分	①書面合議審査区分			
	②書面審査区分			
	③小区分名			
	④小区分コード		⑤専門分野	

⑥研究課題名	（和文）
	（英文）

1. 申請者情報等

（所属機関コード：　　）

⑦氏　　名	登録名	（フリガナ）（姓）　　（名） （漢字等）　（姓）　　（名）

⑧学歴　（学部、修士）		
⑨大 学 院 博 士 課 程 （出身または在学）	入学年月	（西暦）　年　月　入・進学
	大学名	国内の大学　／　海外の大学
	研究科名	
	課程種別	
	修了・退学等	（西暦）　年　月　修了／単位修得済満期退学／中途退学
	学位	（西暦）　年　月　日
	学位付記 専攻分野	
⑩研究・職歴等	就職日（大学等研究機関の任期に定めの無い常勤研究職）　（西暦）　年　月　日	
⑧学歴、⑨博士課程、⑩研究・職歴等別紙：　有　／　無		

⑪研究中断理由	申請者本人又は配偶者の出産又は育児　／　家族の看護　／　家族の介護　／　結婚に伴う転居による辞職	
⑫研究中断直前の職・身分・雇用形態	職・身分	
	雇用形態	任期なし常勤職　／　任期付き常勤職　／　非常勤職　／　その他
⑬研究中断期間	１．（西暦）　年　月　日　～　（西暦）　年　月　日　（通算　日） ２．（西暦）　年　月　日　～　（西暦）　年　月　日　（通算　日） （一日　時間　週　日勤務） 研究中断期間の合計：　日	

見本

⑭現在の所属機関	所属機関名			
	部局名			
	職名		任期の有無	無　／　有

⑮申請時点における身分	（プルダウン）　（１）我が国の大学等学術研究機関に所属する研究者 （２）我が国の大学等学術研究機関に所属する研究者を志望する者
⑯海外特別研究員終了後の進路	

⑰派遣を希望する期間	（西暦）　年　月　日　～　（西暦）　年　月　日（2 年間）
⑱派　遣　国	
⑲海外における受入の大学等研究機関での身分	

⑳現在の受入研究者	氏　　名	（フリガナ）　（姓）　（名） （漢字またはローマ字）　（姓）　（名） 外国人の場合、ローマ字入力。
	科研費研究者番号	
	所属機関名	国内の機関　／　海外の機関
	部　局　名	
	職　　名	
㉑出身大学院の研究指導者	氏　　名	（フリガナ）　（姓）　（名） （漢字またはローマ字）　（姓）　（名） 外国人の場合、ローマ字入力。
	所属機関名	国内の機関　／　海外の機関
	職　　名	

㉒海外における受入研究者	氏　　名	(FAMILY NAME)　(First Name)　(Middle Name) （英文）
		海外受入研究者が日本人の場合、入力して下さい。 （漢字等）（姓）　（名）
	職	（英文）
		（和文）
	受入機関名	（種別）大学　／　国公立試験研究機関　／　非営利の民間研究機関
		（英文）
		（和文）
	受入部局名	（英文）
		（和文）
㉓評価書作成者	氏　　名	（フリガナ）　（姓）　（名） （漢字またはローマ字）　（姓）　（名） 外国人の場合、ローマ字入力。
	所属機関名	国内の機関　／　海外の機関
	部　局　名	
	職　　名	

見本

㉔研究活動における主な使用言語		
㉕外国での研究遂行能力について（語学能力の確認）	説明	
	客観的な指標	（次の項目のうち、申請者がチェックを付した項目が本欄に記載されます） ・主な使用言語の語学検定試験結果 　－試験名称１： 　－級／スコア１： 　－取得年月日（西暦）１：●年●月●日 　－試験名称２： 　－級／スコア２： 　－取得年月日（西暦）２：●年●月●日 ・国際学会において、主な使用言語での発表経験の有無、回数 ・主な使用言語での論文執筆経験の有無、数 ・主な使用言語圏への留学経験の有無、内容 ・主な使用言語の日常的な使用頻度 　－研究室で日常的に使用している 　－主な使用言語を用いてフィールドワークを行っている 　－主な使用言語を用いて共同研究を行っている　等 ・その他、客観的に相応の語学能力を有しており、外国での研究活動に支障がないことがわかる事例

㉖海外における研究・留学歴	訪問先： 目的： 期間：（西暦）　年　月　日　～　年　月　日
	訪問先： 目的： 期間：（西暦）　年　月　日　～　年　月　日
	訪問先： 目的： 期間：（西暦）　年　月　日　～　年　月　日

㉗その他特記事項	

見本